

楽人

2011 April
Vol.44

Gaku
jin

特集

谷岡学園グループの
平成23年度の取組み

<http://www.tanigaku.ac.jp/>



学校法人 谷岡学園

TANIOKA GAKUEN EDUCATIONAL FOUNDATION

特集 ● 谷岡学園、グルーブの平成23年度の取組み

法人本部
大阪商業大学／神戸芸術工科大学

大阪女子短期大学／大阪商業大学高等学校

大阪商業大学附属幼稚園／至学館大学短期大学高等学校

至学館高等学校／至学館大学附属幼稚園

ティジー・テック／U・コミュニケーションホテル
神戸デザインクリエイティブ

トピックス

- 人事異動について
- 学園事務組織の変更について
- 大商大研究棟竣工について

大商大高校新校舎運用開始

大商大みくりや寮耐震補強・改修工事が終わる新名称がひーじーに決定
平成23年度耐震補強工事について

学園設置3高校・幼稚園で携帯サイトを導入
JR大阪駅環状線ホームに大型サインボードを掲出しました

平成23年度 谷岡奨学生受賞者決定

ニュースファイル

● 大商大

塩川正十郎大商大顧問教授に大学院名誉博士称号記が授与されました
教育GPシンポジウムが開催される
商業史博物館による「拓本作り・和綴じ本作り実習授業」

「カオス2011 神戸芸術工科大学卒展」が開催されました

ガーデンシティ舞多聞の住宅が「建もの探訪」で紹介されました
焼き菓子の製作実習が行われました

ガーデンシティ舞多聞の住宅が「建もの探訪」で紹介されました
焼き菓子の製作実習が行われました

コンビニメニュー選手権速報！
「熱血献血キャンペーン。ポスター原画大募集」で大商大高生が大阪府知事賞に輝く

「デザイン美術コース生の作品展が開催される！
正門がリニューアル

「勉強クラブ」の取組みについて
修学旅行について

大商大高校
大商大附属幼稚園
大阪女子短大高校
各校クラブ活動等の活躍について

小田前園長による講演会が行われました

- クオリティ・オブ・ライフ、"心の受難時代"を乗り越えるために、
各設置校の主な予定
- 編集室コラム

contents

樂人

Gaku
jin

新年度に向けて

理事長挨拶

学校法人 谷岡学園 理事長
谷岡 一郎

去る平成23年3月11日、東北地方太平洋沖地震が発生しました。地震の規模、被災規模や影響範囲はいずれも、我々が経験した阪神・淡路大震災を上回るものとなりました。

犠牲になられた方々に対しましては謹んでお悔やみ申し上げます。また、現地において救助・復興に当たつておられる方々の尽力に対し敬意を表するとともに、被災された方々におかれましては、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、本学園におきましても今年度の

新入生数は各学校とも堅調に推移する結果となりました。単年度の結果をもって喜憂することはできませんが、これも教職員の皆様の努力のお陰と感謝申し上げます。

今年の年頭挨拶で申し上げたとおり、我々のモットーは、学生、生徒、園児に対し、可能な限りの付加価値をつけて社会に送り出す、次のステップに進ませることです。これが我々の使命であり、学資を負担している方々への責任であり、そして我々の哲学であるとも考えます。

この責任を果たすため、今年度、各

学校では下記の事業計画を実行する予定です。

学園としては、顧客満足度(CS)の観点から昨年度制定したCS理念・方針・行動指針の推進とともに、新たに設置された監査室では、監事、法人本部各課及び各設置校とも機的に連携を図りながら、学園経営の健全性、透明性の確保を推進していく。また、法人本部総務部門では、各学園等の施設の計画的整備・改修、各学校間及び各関係会社間の連携推進等に、人事部門では人事制度の見直しによる人件費の抑制、教員の新人事制度構築、帰属意識の高揚を目的とした福利厚生の充実等に、財務課では学園全体の收支バランスに考慮した財務計画の立案及び財務体質の強化、関係者に対する分かりやすい財務状況に関する情報提供に継続して取り組みます。

大阪女子短期大学では、平成24年度からの学科・専攻・コースの再編成に向けた実質的な手続きを開始します。また、教育体系として3学期・60分授業についての多角的な企画・検討を行うとともに、総合的な「学生アンケート」や学生代表者との継続的な懇談の実施、優先度を考慮した学生ボタルサイトの導入など、学生満足度の向上に向けた取組みを実施します。

3つの高等学校では、いずれにおいても学校周辺における清掃活動の実施など、身近なところからの地域連携を行なながら、それぞれの教育課程の見直しや生徒の安定的確保に向けてそれぞれ独自の取組みを行ないます。

大阪商業大学附属性幼稚園では、新入園児の保護者が感じている「教育方針がしつかりしている」「頭と体をつかいのびのびと自立性を育てる幼稚園」「先生達も明るく幼稚園の雰囲気が良い」という印象や期待を実現できるよう、努力を続けていきます。また、安定的な入園児数の確保に向けて2歳児保育の充実と広報に取り組みます。

大阪商業大学では、面倒見の良い大学、就職に強い大学を目指す取組みの一つとして、全学生を対象とした、学生自らの就業力を向上させる学生支援をスタートさせる予定です。ここでは学生一人ひとりの学修状況などを統括的に把握する学生成長カルテの運用などにより、学生生活全般にわたる支援体制の見直しを図ります。また、研究面においても3つの研究機関

での各プロジェクトを推進します。

神戸芸術工科大学では、昨年度受審した第三者評価の結果を大学改革につなげていきます。時代の要請とともに発展してきたデザイン・アート、メディアの新しい分野でも継続的に

活躍できる人材の育成に向けて、教育課程の見直しや諸設備の更新、増強を積極的に、かつ、計画性をもって実施します。また、従来から展開している地域社会や企業などの連携については、今後も引き続き活発に行なうとともに、来る開学25周年記念事業に向けた取組みについて具体的な検討を開始します。

大阪商業大学堺高等学校では、建学の理念に沿った教育を開拓し、心の教育を中心としつつ、生徒指導の強化、保護者への働きかけも視野に入れた進学実績向上への取組みを行ないます。学校全体の雰囲気がいい方向に変わりつつあるこの機を逃さず、社会に評価される学校となれるよう変革につなげています。生徒に対しても、それぞれの学習成果を的確に把握し、その変化を示すことにより次の学習動機につなげたいと考えます。また、地域の方々による評価で最も分かりやすい指標となるのが生徒指導のあり方との認識の下、教員の意思統一とともに一定の効果を示しているポイント制の活用について改善を行ないます。

大阪女子短期大学では、平成24年度からの学科・専攻・コースの再編成に向けた実質的な手続きを開始します。また、教育体系として3学期・60分授業についての多角的な企画・検討を行なうとともに、総合的な「学生アンケート」や学生代表者との継続的な懇談の実施、優先度を考慮した学生ボタルサイトの導入など、学生満足度の向上に向けた取組みを実施します。

3つの高等学校では、いずれにおいても学校周辺における清掃活動の実施など、身近なところからの地域連携を行いながら、それぞれの教育課程の見直しや生徒の安定的確保に向けてそれぞれ独自の取組みを行ないます。

大阪商業大学高等学校では、新校舎建築、耐震補強工事とともに完了する年度を迎えるなど、ハード面の整備が整います。ソフト面では、コースコンセプトの見直しや再設定に取り組むとともに、系列校との連携強化・発展のほか、系列校以外との高大連携の提携作りに取り組みます。

最後になりますが、これらの取組みを実現するためには、様々な苦労や困難が待ち構えていることと思います。しかし、必要なものは絶対残るんだ、という確固とした信念を持つて、常に挑戦する気持ちを忘れず、そしてより体に気をつけて、最後に笑っていらっしゃる者となれるよう、全教職員一丸となつて頑張りましょう。

谷岡学園グループの平成23年度の取組み

法人本部

本学園は、建学の理念「世に役立つ人物の養成」に基づく教育研究を積極的に推進するため、2大学・1短期大学・3高等学校・1幼稚園を恒常的に維持・発展させるべく、毎年度、法人本部及び各設置校を含め、新たな取組みや改革改善を行っています。

また、この取組みは、平成22年度下期より、新たにCS（顧客満足度）の観点から捉え、CS理念方針・行動指針を設定し、推進しています。

この新たな取組みや改革改善の統括的な事業について、法人本部は平成23年度以下の項目を重点において検討・提案・実施を行います。

- (1) 学園組織運営の健全化・適正化・円滑化・効率化の推進「5ヵ年計画の3年目」
- (2) 学園施設の維持管理及び規模の適正化推進(関連会社を含む)「5ヵ年計画の3年目」
- (3) 教員新人事制度の構築「5ヵ年計画の3年目」
- (4) 専任教員新人事制度の充実展開
- (5) 特別職員人事制度の体系化
- (6) 教職員福利厚生制度の充実
- (7) 財政基盤の安定化推進
- (8) 財務管理の適正化推進
- (9) 電子決裁等による各管理部門業務の効率化推進(新システムの導入・展開)
- (10) 情報公開のしくみ構築

なお、上述の重点項目を進める各部門の概要については、次のとおりです。

◆学園基本領域

【事業計画】

学園全体の健全な経営を視野に入れ、設置校全7校の今後を見据えた、組織運営計画(総務課)、人事計画(人事課)、経営計画(財務課)等が互いにリンクした企画・立案を法人3課による協同作業により推進します。また、戦略的な組織運営を行ふことを目標に平成23年度は以下の業務を重点的に取組みます。

1 学園組織運営の健全化・適正化・円滑化・効率化の推進「5ヵ年計画の3年目」

学園全体の組織運営の健全化・適正化・円滑化・効率化を図るため、ワークフローの電子化推進、法人本部の企画・管理部門の見直し及び組織改編後においては「オローラップ」(内部監査室機能を含む)、各設置校の発展的な運営と既存組織との検証(必要に応じた組織再編特に幼稚園・保育センターの見直し及び運営変更後ににおいては「オローラップ」危機管理の啓発推進・補助金申請の平準化とスキルアップ(設置校共)、各事業分野における企画・立案を行いタイムリーに実施します。

2 学園施設の維持管理及び規模の適正化推進(関連会社を含む)「5ヵ年計画の3年目」

設置校の安全かつ快適な教育環境の維持・向上を図るため、年次計画としている耐震補強や改修等の工事を引き続き実施します。平成23年度は大阪商業大学・大阪商業大学高等学校・大阪女子短期大学・高等学校で工事を実施します。

また、大阪商業大学附属幼稚園の保育室の環境整備として、空調設備増設工事等を実施します。さらに、TT-Sセンター及び関連会社(・「ミユ二ティホテル(賃貸建物)」においても、それぞれ竣後15年以上が経過しているため、今般、中長期計画を策定し、施設設備の段階的な改修を順次実施、利用者の安全確保を含む環境整備を行い、利用者増を図ります。

設置校の広報支援の充実、学園ホームページのリニューアル

平成21年度から実施している学園設置校の認知度向上を図るために支援を引き続き実施します。公共交通機関主要駅への広告として、近鉄大阪難波駅へ継続掲出新たにJR大阪駅及び近鉄阿部野橋駅を追加します。また、平成22年度に導入した高等学校の携帯サイトの維持・管理の継続、高等学校だけなく、幼稚園の連合広告などの広報活動も展開し、生徒・園児募集の側面的支援を推進します。その他、平成22年度に制定した学園シンボルマーク・カラ―に合わせた学園ホームページのリニューアルを実施し、新コンテンツの追加及び既設

■総務部門

コンテンツの見直しを行い、学園の認知度向上を図ります。

【事業計画】

平成23年度についても、戦略的人事・労務計画の策定と計画的的人事企画の実施を推進することとし、その柱として教員の新人事制度の構築に本格的に取組みます。20年度より設置校毎に大学教員定年令の改訂・賃金制度改定・退職金制度再整備・中長期採用計画といった諸課題について、大学教員・高校教員とも、慎重に、かつ構成員の認識理解を図りながら、5ヵ年計画の3年目として新たな制度構築を進めます。次に組織活性化と教職員の能力開発の一貫としての職員の新人事制度展開については、学園の永続的な発展を目指し、継続して業務改革の推進を図ることを第一義に取組み、人事評価制度・能力開発制度を更に発展開拓させることとともに、賃金制度の適正運用に繋げ、各事業を展開します。これに付随し、特別職員人事制度も体系的に推進し、制度の運用を進め、適正な採用配置を行います。

更に、経営安定制に向けた人事諸施策においては、構成員の帰属意識の高揚を目的として、福利厚生制度の充実に継続して努め、健康管理促進(マントルヘルス対策含む)、セカハフ・バハフ対策の再整備、各種福利厚生事業の運用促進などを行います。また、人事管理においては、近代化を二層進歩し、価値の多様化を見極めた適正かつ効率的な管理制度・システムの展開を進めます。なお、具体的な事業計画内容については、以下のとおりです。

1 教員新人事制度の構築「5ヵ年計画の3年目」

① 大学教員定年令改訂
② 教員評価制度導入企画
③ 賃金制度フレームワーク策定
④ 退職金制度の見直し
⑤ 中長期採用計画策定

2 専任教員新人事制度の充実展開

① 業務改革継続推進
② 能力開発制度の効果的展開
③ 人事評価制度の適正運用

3 特別職員人事制度の体系化

① 契約職員人事評価制度の適正運用

4 教職員福利厚生制度の充実

① 健康管理促進
② セカハフ・バハフ対策
③ 福利厚生制度の効率的遂行および教職員への制

【事業計画】

学園の安定した財政・強固な財政基盤の充実に向けて、将来にわたる教育・研究活動を達成するための資金確保を視野に入れた中長期財務計画を策定し、収入・支出のバランスを考慮し、財務の安定化・健全化・適正化を計画的に図ることを目標に、以下の業務を重視的に行います。

学園財政基盤の安定化を推進するため、中長期の施設設備計画・借入計画を更に熟慮し、基本金(第2号)先行組入を考慮した中長期財政計画の策定・学園財務の指標となる財務数値の確定・経済動向をリアルに反映した資金運用計画(有価証券・預貯金の運用計画)に基づいた運用、取引金融機関のリスク管理強化を行います。

1 学園財政基盤の安定化を推進

学園財政の安定化を図るため、中長期の施設設備計画・借入計画を更に熟慮し、基本金(第2号)先行組入を考慮した中長期財政計画の策定・学園財務の指標となる財務数値の確定・経済動向をリアルに反映した資金運用計画(有価証券・預貯金の運用計画)に基づいた運用、取引金融機関のリスク管理強化を行います。

2 財務管理の適正化推進

会計基準に定められた基本原則を遵守した会計処理を推進するうえで、更なる監査法人と監事との連携強化を図り、期中における会計監査の実施体制の見直し・学園関連会社・設置学校等の定期会計監査の実施・定期的な会計監査体制の充実

会計監査の実施・定期的な会計監査体制の充実

■人事部門

度漫透展開

シユ・施設他

①電子決裁システム導入展開

②人事統計資料の整備充実

③新人事管理システムの適正運用

④新規企画策定および運用推進(慶弔・リフレッシュ)

⑤人事管理業務の効率化・合理化推進

度漫透展開

シユ・施設他

①電子決裁システム導入展開

②人事統計資料の整備充実

③新人事管理システムの適正運用

④新規企画策定および運用推進(慶弔・リフレッシュ)

⑤人事管理業務の効率化・合理化推進

⑥新規企画策定および運用推進(慶弔・リフレッシュ)

⑦新規企画策定および運用推進(慶弔・リフレッシュ)

⑧新規企画策定および運用推進(慶弔・リフレッシュ)

⑨新規企画策定および運用推進(慶弔・リフレッシュ)

⑩新規企画策定および運用推進(慶弔・リフレッシュ)

⑪新規企画策定および運用推進(慶弔・リフレッシュ)

⑫新規企画策定および運用推進(慶弔・リフレッシュ)

⑬新規企画策定および運用推進(慶弔・リフレッシュ)

⑭新規企画策定および運用推進(慶弔・リフレッシュ)

⑮新規企画策定および運用推進(慶弔・リフレッシュ)

⑯新規企画策定および運用推進(慶弔・リフレッシュ)

⑰新規企画策定および運用推進(慶弔・リフレッシュ)

⑱新規企画策定および運用推進(慶弔・リフレッシュ)

⑲新規企画策定および運用推進(慶弔・リフレッシュ)

⑳新規企画策定および運用推進(慶弔・リフレッシュ)

㉑新規企画策定および運用推進(慶弔・リフレッシュ)

㉒新規企画策定および運用推進(慶弔・リフレッシュ)

㉓新規企画策定および運用推進(慶弔・リフレッシュ)

㉔新規企画策定および運用推進(慶弔・リフレッシュ)

㉕新規企画策定および運用推進(慶弔・リフレッシュ)

㉖新規企画策定および運用推進(慶弔・リフレッシュ)

㉗新規企画策定および運用推進(慶弔・リフレッシュ)

㉘新規企画策定および運用推進(慶弔・リフレッシュ)

㉙新規企画策定および運用推進(慶弔・リフレッシュ)

㉚新規企画策定および運用推進(慶弔・リフレッシュ)

㉛新規企画策定および運用推進(慶弔・リフレッシュ)

㉜新規企画策定および運用推進(慶弔・リフレッシュ)

㉝新規企画策定および運用推進(慶弔・リフレッシュ)

㉞新規企画策定および運用推進(慶弔・リフレッシュ)

㉟新規企画策定および運用推進(慶弔・リフレッシュ)

就業力育成支援に向けて —自校教育をすすめる—



②職員は所属する課室での業務が他の課室とどのように連携することで、学生支援の実をあげることができるのかを考える。この取組みは、教員が連携しながら

- ①初年次教育などを通して、職業観・勤労観を培つとともに、自らの生き方や生活について基本的な展望をもつ。
- ②「学生成長カルテ」を用いて自らの個性や能力を把握しつつ、将来の進路を自らの責任で選べるよう、主体的に大学生活を組み立て、適切な授業科目を選択し、計画的に学修を継続・深化させる。
- ③座学によって得られる知識や技能が企業などの社会の第一線でどのように活用されるかを実地に学ぶなど、実践的な能力を獲得する。
- ④大学生活を通じて修得した様々な知識や技能が、自分の手中で有機的に統合され、大学を卒業した職業人として求められる資質・能力を身につける。

では、次の要件を満たす必要があります。
①教員が、このプロジェクトの意味と意義を考え、自らの教育活動がいかなる役割を担うかを考える。
ですが、この取組みが実効あるものとなるためには、次の要件を満たす必要があります。
②職員は所属する課室での業務が他の課室とどのように連携することで、学生支援の実をあげができることができるのかを考える。この取組みは、教員が連携しながら

激変する社会環境のもとで、学生が自らすんで自己の成長に努め、社会参画の意義を深く理解し必要な能力を常に高める意欲をもつ、つまり「自己開発能力」を身につけることは、きわめて重要なことです。これを全教職員が支援する活動として「就業力育成支援プロジェクト」を実施します。具体的な目標は、



①「就業力育成支援」として、学生と教職員、そして父母と大學生といった本学をステージにして関係性を結ぶすべての人々が、大阪商業大学で学ぶ、それを支援する。さらにその活動の意義を理解することが重要です。そのためには、学生、教職員さらには父母も共有する心の絆が必要であり、精神的支持が求められます。それが、建学の理念「世に役立つ人物の養成」、それに基づく大学の使命・目的を支える4つの柱「思いやりと礼節」「基礎的実学」「柔軟な思考力」「楽しい生き方」です。大阪商業大学への認識を高め、その認識を相互に確認・共有していく活動を「自校教育」と呼ぶこととします。このプロジェクトは、自校教育の推進でもあります。

今後、導入教育から卒業後支援まで、就業力育成支援活動を中心とする学生支援体制を構築・推進することで、「離学者が少ない」、「母校に帰りたい」、「入学させたい」大学となることを目指します。

神戸芸術工科大学

神戸芸術工科大学の飛躍 — 地球社会をデザインする —

【こぎわうキャンパス】

神戸芸術工科大学では、平成22年4月、先端芸術部が改組拡充され「まんが表現」「映像表現」「クラフト美術」の3学科としてスタートし、デザイン学部「ビジュアル」「ファンション」「プロダクト」「環境・建築」の4学科、更に大学院総合デザイン」「総合アート」「芸術・美学」の3専攻と

【国際交流の活性化】

教員の海外研修の機会を継続的に確保し教員の活性化をはかり、クムルヘや、IAUP、ユネスコの環境デザインプログラムに参加しま

す。更に「ユネスコの創造都市(27カ国)のデザイン大学との連携を開始し国際交流協定大学を増設します。

ら、課室のネットワークの形成と運用を行う、いわば新たなSD活動とFD活動の推進でもあります。

教職員間、学生と教職員、そして父母と大學生といった本学をステージにして関係性を結ぶすべての人々が、大阪商業大学で学ぶ、それを支援する。さらにその活動の意義を理解することが重要です。そのためには、学生、教職員さらには父母も共有する心の絆が必要であり、精神的支持が求められます。

それが、建学の理念「世に役立つ人物の養成」、それに基づく大学の使命・目的を支える4つの柱「思いやりと礼節」「基礎的実学」「柔軟な思考力」「楽しい生き方」です。大阪商業大学への認識を高め、その認識を相互に確認・共有していく活動を「自校教育」と呼ぶこととします。このプロジェクトは、自校教育の推進でもあります。

今後、導入教育から卒業後支援まで、就業力育成支援活動を中心とする学生支援体制を構築・推進することで、「離学者が少ない」、「母校に帰りたい」、「入学させたい」大学となることを目指します。

【充実する教員スタッフと教育環境】

この歩みを更に充実させるために、教員スタッフの充実、教育研究環境の整備、カリキュラムと密着した全学で施設利用できる「デザインラボ」の整備を行います。

【地域社会や大学との連携とアンテナショップによる情報発信】

ユーティの公開講座の開催や、神戸市とのデザイン都市推進に関する包括協定に基づく、

商業活性化、地場産業の「デザイン協力、まちづくり支援神戸ビエンナーレなどに、教職員、学生、大学院生とともに参加し、その成果を官能的に開設する「アントナンショップ」等で積極的に情報発信します。

【高大連携リカレントプログラムの開発】

受験生への情報提供を、3人のアドミッション担当の特任教授がきめ細かく行います。

あわせて、卒業生や定年退職後に新しいスキルを獲得したいとする社会人に、「デザイン」と「アート」と「メディア」のリカレントプログラムを提供します。

【異なるキャンバスマニフェストの改善】

学生達が日々集つ「ウッドデッキ広場」への「桙の木・植樹」と、あわせて食堂・カフェ掲示施設などの環境改善を実施、開学25周年を目標に図書館の増改築及び学生会館の新設を計画します。

【2研究所の研究活動の活性化】

「芸術学研究所の新しい「ア研究」「サステイナブル」「デザイン」がはじまり、同時に「芸術工学会事務局」が九州大学から移管されます。「アジア・デザイン研究所」の活動をあわせて、大学院学部と連携して地域社会やアジアに教育研究活動を開展します。



大阪女子短期大学

明日への挑戦Ⅱ



平成21年度の入学定員充足率は、72.1%、定員充足率は、73.2%。昨年度は入学定員充足率で9.7ポイント改善、平成23年度は85.0%まで回復し、定員充足率も81.8%となりました。この2年間、学園の支援を受けた様々な施策が一定成功したと考えますが、全国短期大学との比較では、平均を下回っているのが現状であります。従つて、本学は、平成23年度も定員充足を最重要課題として位置づけ、「経営と教養の調和」を目指します。また、学生募集と並行して、教育内容の更なる充実から、次の課題に取り組む計画であります。

▼教育システムの改編

様々な入試制度で多様な学生を受入れている現状から、教育効果を最大限に向上させるため、平成24年度より、90分授業を60分授業と併せて、3学期制を導入します。2年を6学期と捉えて、各学期での開講科目を減らし、1科目を原則週2回開講し、系統的に学修を進める方針です。その実現に向けて、今年度も将来構想プロジェクト及びワーキングを中心に、諸手続きに入ります。

▼コース制の導入

現在の学科構成においては、生活科学科の食物栄養専攻と人間健康学科に「コース制を導入しております。しかし、本学の教育内容を、今以上に理解を頂くために、平成24年度より、全学科に「コース制」を導入します。また、近年の志願者数や入学者数を踏まえ、学科定員の振替え等を行います。そのための最終検討に入るとともに、教員充足率は、73.2%。昨年度は入学定員充足率で9.7ポイント改善、平成23年度は85.0%まで回復し、定員充足率も81.8%となりました。この2年間、学園の支援を受けた様々な施策が一定成功したと考えますが、全国短期大学との比較では、平均を下回っているのが現状であります。従つて、本学は、平成23年度も定員充足を最重要課題として位置づけ、「経営と教養の調和」を目指します。また、学生募集と並行して、教育内容の更なる充実から、次の課題に取り組む計画であります。

▼その他の

地域に根ざした短期大学として、地域子育て支援研究所としての取組みや、さまざまな地域イベントを開催し、本学の知名度の拡大を目指します。

平成21年度の入学定員充足率は、72.1%、定員充足率は、73.2%。昨年度は入学定員充足率で9.7ポイント改善、平成23年度は85.0%まで回復し、定員充足率も81.8%となりました。この2年間、学園の支援を受けた様々な施策が一定成功したと考えますが、全国短期大学との比較では、平均を下回っているのが現状であります。従つて、本学は、平成23年度も定員充足を最重要課題として位置づけ、「経営と教養の調和」を目指します。また、学生募集と並行して、教育内容の更なる充実から、次の課題に取り組む計画であります。

▼C/S理念の徹底

本学にとっての顧客は学生、保護者をはじめ、セミナー受講者、高等学校や就職先企業等多々ありますが、これら顧客の満足を得ることの重要性を教職員が認識し、共有しなければなりません。今年度より、「一人ひとりの学生を大切にし、教職員が全力をあげてサポートし、この学校に来て良かった」と思われる短大を目指す。」をC/S理念として掲げます。この理念を、建学の理念や教育目標と共に教職員は常に意識し、学生等の対応を行なうことを考えます。

▼思いやりプロジェクトスタート

近年、本学生に限らず、マナーの悪さや、コミュニケーションの不得手な学生が増えていますが、人への思いやりの希薄さが要因でもあるように思います。本学は、建学の理念の中で「思いやりと礼節」を掲げており、ます人間として立派であることに重きを置いた取組みが必要であると考えます。入学から卒業までの2年間を「ハーモン」として、思いやりを身につける教育を展開します。

▼就職支援の強化

平成22年度期中に、キャリアサポート室を拡大し、キャリアカウンセラーの配置を行い、学生支援体制を強化しました。今期も就職戦線は厳しい状況が続くと認識しますが、求人の拡大を目指し、企業関係者との交流を行い、「就職率の高い短期大学」として評価される短大を目指します。

大阪商業大学高等学校

元気な学校さらに・さらに

グローバル商大コース「共学化」により、女子生徒の笑い声が溢れる学校となっていました。今年も引き続き多くの女子生徒を受け入れます。

「明るく元気な学校」というイメージが、地元東大阪・八尾から、徐々にではありますが他県にも広まり、グローバル商大コースの「共学化」が好意的に受け止められています。

また、念願の新校舎の完成と、本館の耐震工事などを経て、秋(2学期)にはリニューアルオープンの予定です。

新校舎は、教室だけでなく、4階には400人が入れる多目的なスペースも計画されています。祝賀会教室で開催できなかつた学年集会・コース集会などができるようになります。

今春の卒業生進路実績は、関西大学、立命館大学への合格者を増やすことができ、昨年実績を上回っています。

また、プログレスコースでは、入学時の偏差値を10ポイント程度上げるという取組みが実績を結びつあります。

クラブ活動では、バレーボール部の春の高校

バレー出場(今年から年始開催)、ゴルフ部の全国選手権個人・団体出場、柔道部の60kg級での全国大会出場など大活躍です。

デザイン美術コースでは、昨年に引き続き「世纪のタ・ピンチを探せ」高校生アートコンペティションで入賞、「エコ・アートフェスタ大阪2010」、「ヨミニアート甲子園」ヘッドボトル部門で準グランプリ受賞、全日本高校デザイントリスト展入賞、全国合板一枚作品コンペティション優秀賞など、さまざまな実績を上げています。

また、大商大附属幼稚園との協力授業、バリアフリー体験授業などの取組みも進めています。

別室指導で、学習時間数の補充や各教科の学習を図ります。



の取組みが一定進んでいます。学校評価として、「元気で・面倒見がよい」と中学生や保護者からお褒めいただいています。

また、「テーマ別オーブン講座(生徒指導・教科指導・対話スキル)」を苦手・担任経験の少ない教員を対象に開催しました。

学校外部評議会を開催し、在校生や保護者による満足度をさらに上げていくため、

生徒を信頼する教師集団

◆保護者から信頼される教師集団

◆地域から信頼される教師集団

◆信頼される学校をめざして、「一つひとつを遂行できる一年にしたい」と考えています。

信頼される学校をめざして、「一つひとつを遂行できる一年にしたい」と考えています。

大阪商業大学堺高等学校



平成23年の年明けから中東における動乱、ニュージーランド・クライストチャーチの大地震など、人間社会をとりまく環境は、地球規模で大きな激動期を迎えているよう思います。世界に未来の展望を悲観する傾向が広がり、未だ閉塞状態を脱し切れていない状況にあります。日本もその例外ではなく様々な影響を受けています。国内にあつては、政治と経済の混乱が続います。特に、昨年から高校授業料無償化をはじめとした教育改革等が進められ、私学をとりまく環境はますます大変な厳しい中になります。

昨年の楽人に「未来を開く」と書かせていました。未来を開く為には、理想や夢をもなければなりません。本年度は、重点施策として建学の理念、「世に役立つ人物の養成」の現代的解釈にある4本柱を基本に、新しい日本及び世界の創造に貢献できる心の教育に取り組みたいと考えています。そして、その夢を実現するための根本精神は、校訓にある「誠実」と「不撓不屈」の精神であると思います。



また、継続施策として「教職員の信頼と和構築」「明るく楽しい学校作り」を目指します。信頼と和のないところに発展はないと考え、全教職員が自分の学校と見えるよう努力します。学校の発展は家庭の繁栄であり、家庭の発展は学校の繁栄であると考えます。そして、本校を訪れる全ての人と、信頼と和の心で、心と心を結びあう人間関係を築きあげることも大切だと思います。

そして、本校が高等学校として価値ある学校として、地域社会に支えられる学校から、地域を支える学校となってくれる対象になればならないと思います。

終わりに、平成23年度入試のご報告をさせていただきます。本校への出願者は総数1,700名となり、専願者は定員を超える応募となりました。これは、学園のご支援と本校教職員の皆様方のたゆまない努力と協力の賜であると感謝いたします。特に、昨年度は、教育環境整備に学園本部の多大なる尽力を頂いたことを、ありがとうございました。

本校が考える女子教育の原点とは、生徒一人ひとりの学力の伸長と規範意識の涵養です。建学の精神である「基礎学力」と同義の、常に真理を求める高い知性を身につけること。「思いやりと礼節」、あるいは「柔軟な思考力」に通じる、感性豊かな潤いのある情操を育てる。人を思いやり、人に尽くす精神を育てることです。これに加えて、命を生き育む性として、生命の大切さを教えることです。

なかでも高い知性を育てること。一人ひとりの学力を伸ばし、豊かな進路を保障する取組みは重要です。本校は長い歴史の中で、手厚い学習指導を実践し、学力による留年生を出さない伝統を作つてきました。これは、全教職員が誇りとするところです。これに加えて、平成21年度からは、より高い学力、知性を育てる実践を行つてきました。正しい授業、指導計画の再点検、習熟度学級編成、放課後の勉強クラブなどに取り組んでいます。そんな中、本校独自の奨学金制度の効果もあって、生徒の学力が正規分布するようにもなってきました。その結果、生徒間で健全な競争意識が芽生え、切磋琢磨する雰囲気が育つています。おかげで今春は、目標とする産近甲龍合格者や、大阪市役所職員合格者を出すことが出来ました。これまでの取組みを検証しながら、さらに発展させ、豊かな出口を確立することが、社会の期待に応えることだと考えま

「未来を開く」から 「夢に向かつて」

教育の原点を さらに追求

大阪女子短期大学高等学校

女子校人気の凋落傾向は歯止めがかからぬ状態です。そんな中、本校は、ここ3年間で学年増を達成してきました。全教職員と在校生が協力して実践してきた「教育の原点を追求する」取組みが実を結んでいるのだと感じています。その顕著な例として、本校を一番身近に見ている近隣中学校からの受験者が増えています。本校がより良い変革を遂げつつある証と嬉しく感じています。

本校が考える女子教育の原点とは、生徒一人ひとりの学力の伸長と規範意識の涵養です。建学の精神である「基礎学力」と同義の、常に真理を求める高い知性を身につけること。「思いやりと礼節」、あるいは「柔軟な思考力」に通じる、感性豊かな潤いのある情操を育てる。人を思いやり、人に尽くす精神を育てる。これに加えて、命を生き育む性として、生命の大切さを教えることです。

なかでも高い知性を育てること。一人ひとりの学力を伸ばし、豊かな進路を保障する取組みは重要です。本校は長い歴史の中で、手厚い学習指導を実践し、学力による留年生を出さない伝統を作つてきました。これは、全教職員が誇りとするところです。これに加えて、平成21年度からは、より高い学力、知性を育てる実践を行つてきました。正しい授業、指導計画の再点検、習熟度学級編成、放課後の勉強クラブなどに取り組んでいます。そんな中、本校独自の奨学金制度の効果もあって、生徒の学力が正規分布するようにもなってきました。その結果、生徒間で健全な競争意識が芽生え、切磋琢磨する雰囲気が育つています。おかげで今春は、目標とする産近甲龍合格者や、大阪市役所職員合格者を出すことが出来ました。これまでの取組みを検証しながら、さらに発展させ、豊かな出口を確立すること、社会の期待に応えることだと考えま



これらの教育活動に加え、本校独自のカリキュラムである茶華道、生活の書道、ガラスアート、コーラスなどの特徴を積み上げることで、魅力ある学校、社会が必要とする学校に近づくと確信しています。

大阪商業大学附属幼稚園



昭和30年に開園した大阪商業大学附属幼稚園。現在の大商大テラスポートのあたりにあって、平成7年1月に新園舎に移転しました。56年の歴史の歩みとなります。近隣の92歳のお婆様が自転車で通りかかり「うちの子3期生ですかねん。この前を通るたびに、お子達を見て、あーこんなことしてたなあ。ええ幼稚園やつた」と、なつかしそうに当時の話をしてくれました。何年たっても心の中に商大幼稚園が生きているのです。

56年の歴史に恥じるこなく、いつの時代も社会に必要とされる魅力ある幼稚園であるべく「人間形成の土台づくり」が、学園の建学の理念「世に役立つ人物の養成」へとつながる教育活動を行います。具体的には子ども達の遊びや生活が、次の4つの柱に支えられ学びと育ちを保障します。

●豊かな心ころ・品格ある立派な人間に育てるために!

早寝早起き、朝ご飯、歯磨き、排便などの生活

習慣として身辺整理の自立、人の中で挨拶ができるよう、保護者と連携をとり合って、それぞれの子どもが生きるために基礎づくりをしていきます。

●小学校につながる力・小学校でますます学力が向上するように!

遊びや生活の中でいろいろなものに興味を持ち、おもしろさを感じ、そのことに集中したり、

心も身体ものびのびと育ちを求めて!!

根気強く取り組んだり、工夫したり、見通しをもつたりする力。その遊びの中で発見をして、それを周囲に伝えることができることがあります。

●やわらか頭・自分の頭で考える力を育てるために!

子どもの興味や関心から「ふしきだなあ」「こうすればいいかなあ」「やつてみよう」など仲間と考え合ったり、「一つの目的に向かつて成功のため工夫したり、失敗をおそれずチャレンジしたり、自分の頭で考えて様々な活動を開いていく子ども達を支えています。

●楽しい生き方・自己の力を効果的に發揮できるように!

入園して初めて出会う同年代の友たちと親密になっていくくらい関係になります。そして、お互いに相手選び、相手の立場で考えられるようになり、仲良しという関係になってしまいます。この関係は皆で遊べることだけでなくとても大事であって、「Aちゃん」と一緒に座りたい、「Aちゃんと一緒」このよ

うな関係は、他の子を排除する場面もありますが、その中でどのよつに折り合いをつけ

てそれぞれ自己発揮できるかを学んでいきます。この事がベースとなり、「私たち」という意識が生まれ、一緒に笑い合ったり、悔しがつたりする気持ちの共有こそ幼児期に大切だと思います。皆のことを皆で考

える機会を大事にすることが、子どもなりの役割と責任という意識が幼稚園で育つ

ほどいいと思います。このことが楽しい生き方につながっていくのです。

教職員一同元気に明るく、それぞれの子ども達の学びと育ちを支えていた私達教職員は絶えず研修を重ねていきたいと思います。

至学館大学・至学館大学短期大学部

健康づくりのプロを養成

平成22年4月1日、中京女子大学・同短期大学部は至学館大学・同短期大学部と校名を変え、男女共学の道を歩き始めて一年が経過しました。

健康づくりのためのプロ指導者を養成するこ

とを目標に、競技力向上・健康づくりをサポートするプロの指導者を養成する「健康スポーツ学科」、臨床栄養のみでなく、スポーツ栄養の知識と実践力を身につけたワンランク上の管理栄養士を養成する「栄養科学科」、一人ひとりの子どもと正面から向き合う熱意をもった「先生」を養成する「子ども健康・教育学科」そして東海地区で唯一、体育を専門的に学べる短期大学で運動・スポーツ指導者を養成する「体育学科」から学部・学科が構成されています。

そこでは、「健康」を軸に、「運動・スポーツ」「栄養」「子どもの成長」を専門的に学習できます。科学的な考察と実践的なカリキュラムをバランス良く配置し、学科間の連携を図りながら、社会に求められる健康づくりの本物のリーダーを養成しています。

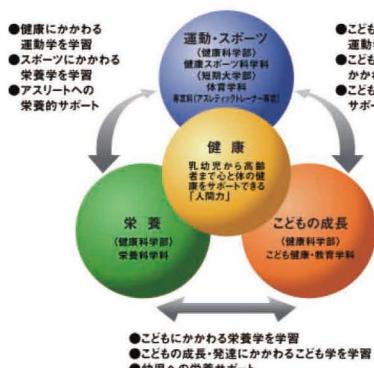
理事長・学長の谷岡郁子は、何時も学生に次

の様に語りかけています。

「自信がない? 当然だよ。知っていることは自信にならない。やってみて、できたことが自信になる。そこに到達するまで、何度も失敗するのがフツーでしょ。至学館の学生は失敗まくつて、そして夢に届く。自分が見つからない? 当然だよ。落とした物じゃないのだから、自分で創るものだよ。感じて、考えて、悩んで迷つて、トライして創るもの。きっと出来るさ。私は奇跡や魔法は信じないけど、若者の可能性は信じる。ほとんど奇跡つてことがこの大学のキャンパスで起きるのを見てきたもの。汗と涙と笑顔を出し惜しみしない毎日と支え合つ仲間たちがいれば100%青春一跳んでござん。落ちて来たら受けとめてあげるからね。」



女子高等教育で100年、今、日本の未来を託す若者教育に向かって次の100年を歩み始めています。



至学館高等学校

「至学館スピリット」と 「チーム至学館」の完成を目指して



校内プロモーションに設置しているメッセージボード



8月に実施している中学生対象体験入学の様子



全体の様子

明るく元気に生き生きと、何事にも本気で頑張る。そして常にさわやかであれ!」この考え方を私たちには「至学館スピリット」と呼んでいます。校内にはいつも笑顔が溢れ、生徒たちはきはきした挨拶の声が響いています。授業に集中し、部活動も継続する。「文武両道」を追求します。豊富な「ース編成や補習・検定への取り組みによって、一人ひとりが持っている個性や可能性を最大限伸ばすシステムを整備します。家政科や商業科では検定合格が自白押です。留学コースでは「ユージーランド」への1年間留学の成果が、単なる英語力のアップだけにとどまらず、その後の生徒たちの人生設計により良い影響を与えてています。特に2010年度は、3年生全体の進路に対する

新しい年度を迎えると、いつも頭をよぎるのは、「苦しい時代にはもう一度戻りたくない」という強い思いです。男女共学化について理事長先生を交えて教職員全員で真剣に討論した日々。その結果行つた大きな決断。幸いにして生徒数は増え続け、「奇跡」とも言われるまでになりました。しかし私たちには忘れません。「スキや安心」は停滞や退行を必ず準備することを。常に新しいことを考えながら一方で若い先生方にもあの時の緊張感や強い志を伝承して行くことが、共学7年目に向かう私たちにとって最大の課題だと思われます。

「明るく元気に生き生きと、何事にも本気で頑張る。そして常にさわやかであれ!」この考え方を「至学館スピリット」と呼んでいます。ハイテクの最先端を行く携帯電話やパソコンのメールやブログなどが青少年の健やかな発達に与える功罪については、既に充分認知されている訳ですが、直接会話しないことで生まれる生徒同士のコミュニケーション不足、誤解曲解やその果ての他への誹謗中傷などは、悪しき社会現象の域に達していると言つても過言ではないでしょう。また若き保護者に垣間見える自分の子どもしか見えない、自分の子どもだけが可愛い、だから思い通りにならないのは他のせいだと本の教育界に激震を与えていました。本校では「一人で抱え込まない」「必ず誰かがサポートする」をモットーに、いろんな教員が関わることで、一つひとつ問題の新しい解決方法を模索するよう努めています。応援されると力がわいてきますよ」

「4月になると、小さい子が来ます。わからないことは優しく教えてあげてください」「ぼくたちはもうすぐ一年生になります。わからないことはみんなにまかせるのでよろしくおねがいします」「みんなで言つたあとに、お別れの歌を歌いました」

新しい年度を迎えるのは、「苦しい時代にはもう一度戻りたくない」という強い思いです。男女共学化について理事長先生を交えて教職員全員で真剣に討論した日々。その結果行つた大きな決断。幸いにして生徒数は増え続け、「奇跡」とも言われるまでになりました。しかし私たちには忘れません。「スキや安心」は停滞や退行を必ず準備することを。常に新しいことを考えながら一方で若い先生方にもあの時の緊張感や強い志を伝承して行くことが、共学7年目に向かう私たちにとって最大の課題だと思われます。

丁寧な指導の中で「生徒自らが学習を進めること」、この促進も新年度に向けて検討すべき課題です。

最後にもう一つ。私たちは、最近「チーム至学館」を合言葉にしています。ハイテクの最先端を行く携帯電話やパソコンのメールやブログなどが青少年の健やかな発達に与える功罪については、既に充分認知されている訳ですが、直接会話しないことで生まれる生徒同士のコミュニケーション不足、誤解曲解やその果ての他への誹謗中傷などは、悪しき社会現象の域に達していると言つても過言ではないでしょう。また若き保護者に垣間見える自分の子どもしか見えない、自分の子どもだけが可愛い、だから思い通りにならないのは他のせいだと本の教育界に激震を与えていました。本校では「一人で抱え込まない」「必ず誰かがサポートする」をモットーに、いろんな教員が関わることで、一つひとつ問題の新しい解決方法を模索するよう努めています。応援されると力がわいてきますよ」

卒園を前に、改めてステキな年長児の姿を見て「大きい組がいなくなるのはいやだ」と泣き出す年中児もいました。逆に「早く大きい組になりたくなった」と目を輝かせていた子もいました。どちらも年長児に対する憧れから出た言葉です。この「憧れ」は、年中・年少児の成長へのエネルギーとなります。

あしたものいつしょに あそぼうね!

至学館大学附属幼稚園

◆年長児にあこがれる年中・年少組

至学館大学附属幼稚園となつて第一回目の卒園児が、平成23年3月16日に卒立つていきました。



大型跳び箱 かけあがり

卒園式に先立つて、3月4日に「お別れ会」を行いました。この会は「年中児・年少児と先生たちが年長児を招待して、今まで遊んでもらったり優しくしてもらつたことに『ありがとうございます』と手を伝えよつ」というものでした。お別れ会が始まりました。遊戲室で年中・年少児が拍手で迎える中、102名の年長児が胸を張つて堂々と入つてきました。年長児は「今日は自分のかっこいいところをみせます!」と年長になってできるようになったことをいくつも見せてくれました。

「竹馬でジャンプ・スキップ」「縄跳び」「ピア

二方を使って「メリーサンの羊」の演奏」「跳び箱」「大型跳び箱の駆け上がり跳び降り」(写真)など、失敗してもやり直し、どの子も一生懸命な姿を見せてくれました。

演技の後は、年長児が年中・年少の子どもたちにメッセージを贈りました。

「大きい組になつたら竹馬に乗りります。乗れるようになると楽しいよ。たくさんの竹馬のワザを作つてね」

「運動会ではみんなで応援を考えます。応援される方へわいてきますよ」

「4月になると、小さい子が来ます。わからないことは優しく教えてください」

「ぼくたちはもうすぐ一年生になります。よくちんのことはみんなにまかせるのでよろしくおねがいします」

「みんなで言つたあとに、お別れの歌を歌いました」

幼稚園では、学園の教育目標の「人間力」の基礎の部分を育みます。自分で考えて行動できる「生きる力」を持つ子どもたちを育成するためには大切なことは、十分愛されているという実感です。そのため、子どもたちの成長のための課題は保護者と一緒に確認し、この時期に確かな力として身につけます。そして「ひとの成長を保育者も保護者もたくさん褒めたり、周りの人を愛することができます。愛されている」と感じられる子は、小さい子に優しい気持ちを抱いたり、周りの人を愛することができます。

次に大切にしているのはバーチャルな体験ではなく、原体験です。自然の中に出かけて行き、ザリガニ捕り、ヨモギ摘み、筍掘り、また畑では野菜を収穫してその感動を絵画などで表現します。収穫した野菜は、子どもたちと一緒に調理して食べます。また、愛知県民の森での合宿など、普段の園生活ではできない体験もします。「一緒に感動できる仲間や先生との体験は、生きる力の原動力です。今年もみんなで力を合わせて、子どもたちが「あしたものいつしょにあそぼうね」と楽しく過ごせる幼稚園をつくります。

よう努めています。応援されると力がわいてきますよ」

「4月になると、小さい子が来ます。わからないことは優しく教えてください」

「ぼくたちはもうすぐ一年生になります。よくちんのことはみんなにまかせるのでよろしくおねがいします」

「みんなで言つたあとに、お別れの歌を歌いました」

「運動会ではみんなで応援を考えます。応援されると力がわいてきますよ」

「4月になると、小さい子が来ます。わからないことは優しく教えてください」

「ぼくたちはもうすぐ一年生になります。よくちんのことはみんなにまかせるのでよろしくおねがいします」

「みんなで言つたあとに、お別れの歌を歌いました」

「運動会ではみんなで応

ティジー・テック

教職員・学生の皆様に喜んで利用いただき、信頼される学園の関連会社を目指します

教職員・学生の皆様に喜んでご利用いただけ、信頼される学園の関連会社を目指します。

設立当初から「谷岡学園グループへの側面的支援」を理念としてグループ全体への協力を推進してきました。今後は時代の流れに柔軟に対応し、学生生活・学園の事業をサポートしながら、近い将来には東大阪地域の関係団体にも同じようなサービスを行いたいと考えています。

次のような業務について親切丁寧なサポートサービスを行っていきますので、何なりとご相談ください。お待ちしています。

《印刷物発注サポート》

冊子・パンフレット・封筒等の発注サポート

《物品購入サポート》

消耗品・備品・家具・家電品等の購入サポート
通信販売(たのめーる・カブネット)

《学生生活サポート》

旅行業務(国内旅行 海外旅行手配)
自動車教習所受付サービス
晴れ着レンタル

《商大喫茶》

テキスト販売



リラク旅行カウンター



晴れ着レンタル予約展示会



商大喫茶



一人暮らし相談会

『その他の業務』
自動販売機管理業務
清掃業務
TTS宿泊施設受付業務
制服指定物品販売
保険代理店業務
損害保険・ガン保険・医療保険
ケータリング

U・コミュニティホテル

平成23年度における取組みについて

平成22年度と同様、景気の先行きが不透明な事から、ホテル業界を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。

こうした中にあって、これまでのビジネスモデルから脱却し、新たな顧客創造を目的として、昨年度以上に積極的な営業展開を図っております。

①インバウンド客獲得増加

海から、韓国を中心とした営業に加え、本年度は中国インバウンドの本格的な営業展開を図って参ります。

これまで中国人客に関しては、少なからず実績を残して参りましたが、言葉の問題もあり、積極的な営業展開を控えておりました。

しかしながら、今春、中国人留学生を採用。

海外インバウンドのドル箱ともいへば、中国人観光客を積極的に誘致して参ります。

また、これまで、実績を積み重ねて参りました

韓国インバウンドにつきましては、さらにその販路を広げるため、現地エージェントとタイアップ

したインセンティブツアーを充実させる事により、安定した稼動が実現可能となり、異常な価格競争に組みない(安売りしない)といつこれまでの当ホテルの販売姿勢を保持して参ります。

今後は、韓国籍及び中国籍のスタッフを中心に、

インバウンド客獲得を大幅に増加させて参ります。

②ホームページのリニューアル
新たな顧客獲得を目的により魅力あるホームページへとリニューアルを実施致します。
特に、ウイークティイにおける宿泊客獲得増加が、稼動率のベースアップとなり、そのためにも、インターネット予約(特にホームページ予約)扱いを増加させる事が急務と考え、これまでの各種プランの改廃を実施しながら、宿泊客に魅力あるプラン設定を実施して参ります。

また昨年度から実施しているSEO対策も、引き続き担当者を中心にして上位検索出来るよう、お問い合わせ



常に状況を把握しながら進めて参ります。

③幅広い宿泊客獲得への客室改装工事

インバウンド客の獲得や団体客獲得の条件の一つとして、2名以上利用可能なツインルームタイプ以上の客室が求められます。こうした状況に伴い、一昨年、昨年と進めて参りました2名以上宿泊可能な客室への改装工事を本年度も実施して参ります。

修学旅行やスポーツ遠征の獲得など、特に学生団体は費用面からツインベッド以上の希望が多くあります。

こうした状況から、最大5名まで宿泊可能なファミリータイプの客室への改装工事を実施して参ります。

さらに、こうした営業展開及び環境整備に加え、当ホテルの経営方針の一つでもある「人が人を接客する」という理念のもと、今後さらに人材教育を充実させて参ります。

特に、シティホテル経験者をスタッフとして採用、ホテルマンとしてのプロ意識を従業員に浸透させ、眞のエリートを育成して参ります。

最後になりましたが、谷岡学園のグループ企業として、より一層その存在価値を高める意味でも、教職員の福利厚生施設としては勿論の事、受験時の宿泊、他各設置校にもお役立て頂ける施設として、様々な場でご利用頂けるよう、今後も緊密に連携を図って参りたいと考えます。

以上、平成23年度につきましても、当ホテルへのご助力、ご支援を賜わりますよう、お願い申し上げます。

以上、平成23年度につきましても、当ホテルへのご助力、ご支援を賜わりますよう、お願い申し上げます。

神戸デザインクリエイティブ

平成23年度における取組みについて

平成22年2月15日、アーネーション産業を関西に復権定着させ、神戸から「コンテンツ」の発信を行い雇用創出や地域活性化を目指し、開設された当社は、アーネーション制作事業部「アーネス神戸」を中心にてデザイン・アート・メディアに関する事業を推進しております。

アーネス神戸では新人アーネーターの育成を目的とした継続的人材育成事業として、産官学（神戸市・神戸芸工大・神戸デザインクリエイティブ）連携による「アーネーターOJT関西」を毎年開催しています。

また、関西のアーネーション制作拠点として、アーネーターの養成事業や優れたアーネーターの関西定着を図る有償研修事業（仮称：関西动画教育センター構想）の実施計画（案）の策定や国内外の教育機関に対して、「アーネーション制作体験事業」を展開推進したいと思っています。

アーネス神戸のアーネーター教育プログラムも動画職研修に加えて原画職研修も加わり、さらにアニメーターのスキルアップに努めています。アーネーション制作では、昨年、神戸市との連携による建築物の耐震化促進オリジナルアニメーション「オキールアーミリー」を制作しま

した。また地域NPO法人との連携による三国志ガーデンオリジナルアーネーション「三国志演義列伝英傑群像」も制作し、三国志فارنهن展示の一翼を担っております。作品のクオリティーについても高い評価を得ています。

一方、地域活性化推進活動では、商店街活性化事業の一環として、キャラクター「デザイン・キー・ビジュアル」、ロゴマークやオリジナルグッズの制作等も行っています。

平成23年3月から3ヶ月間神戸芸工大のアーネーションショップとして、「ギャラリー新長田セレンディップ」もオープンすることができます。

「デザイン・アート・メディア」と地域の融合を目指した新しい事業展開の第歩です。

アーネーション制作等予定

- アーネーション制作
- ・神戸市観光プロモーションビデオ
- ・平清盛プロモーションビデオ
- キー・ビジュアル、ロゴデザイン
- 平清盛等



オリジナルキャラクター「美少女三国志」（神戸芸術工科大学卒業生 芳野由佳 制作）



Gallery新長田Serendip



オリジナルアニメーション「三国志演義列伝英傑群像」

東大阪キャンパス

神戸キャンパス

藤井寺キャンパス

堺キャンパス

平成23年1月31日(月)、平成21年12月から着工した大阪商業大学新築工事が竣工し、教員研究室を有する法人となっています。計画的な事業推進のため、各設置校においては責任の明確化と権限委譲により、迅速な意思決定に基づいて事業が遂行されております。そのため、各設置校における事業の実施結果に対するコンプライアンスのチェックを行うとともに、ガバナンスを推進・確立するために必要な情報を提供し、かつ監事及び監査法人との連携が円滑に行われるための情報提供を行う部署として、平成23年4月1日をもって監査室が設置されることとなりました。



大商大研究棟竣工について

在、本学園は4キャンパスに2大学1短大3高校1幼稚園の設置校及びグループ会社3社を有する法人となっております。計画的な事業推進のため、各設置校においては責任の明確化と権限委譲により、迅速な意思決定に基づいて事業が遂行されております。そのため、各設置校における事業の実施結果に対するコンプライアンスのチェックを行うとともに、ガバナンスを推進・確立するために必要な情報を提供し、かつ監事及び監査法人との連携が円滑に行われるための情報提供を行う部署として、平成23年4月1日をもって監査室が設置されることとなりました。

〔新設組織及び業務〕	
名称	谷岡学園 監査室
業務	(1) 業務監査及び財務監査の企画立案及び実施
	(2) 会計監査及び監事監査との連携及び支援
	(3) 特に理事長から指示のある監査
	(4) 公益通報の窓口及び事務

学園事務組織の変更について

人事異動について

■平成23年4月1日付

〈大阪商業大学 役職発令〉

◎富田 和暁

大学院 地域政策学研究科長

◎上原 一慶

比較地域研究所所長

◎伊木 稔

商業史博物館長

◎岩井 紀子

JGSS研究センター長

◎宇部 一

スポーツセンター長 兼務

〈大阪女子短期大学 役職発令〉

◎中野 長久

大阪女子短期大学 学長
(2年二期の二期目)

◎北田 和美

人間健康学科 学科主任

先 の楽人41号・42号で大阪商業大学高等学校新校舎の建設についてお知らせいたしましたが、同校新校舎は昨年7月に着工し、現在まで順調に工事が進められていきました。そして部ではあります
が、平成23年4月1日(金)から2階の4教室の利用が始まりました。
現在は2階4教室のみの運用ですが、それ以外のフロアについても工事は順調に進行しており、7月からは全面的な運用が開始される予定です。

大商大みくりや寮耐震補強・改修工事が終る 新名称が「S-dorm」に決定



オープニングセレモニーでのテープカット

耐 震補強工事を兼ねた旧みくりや寮の大規模改修工事が平成23年2月末日をもって竣工しました。こちらの建物でも、外壁には大商大のスクールカラーを採用し、鮮やかな印象を持たせることができます。

今回の改修を機に、寮の名称も「S-dorm」(エス・ドーム)に改称、3月16日(水)にはオープニングセレモニーが行われ、すでに新生学生寮第1期生の新しい生活が始まっています。



S-dormの外観



エントランスの銘板



システムベッドが完備された室内



スクールカラーが配色された廊下



新校舎 工事の様子



新校舎 2階廊下



教室 西館との仕切りにスクールカラーを使用した壁面

大商大高校新校舎運用開始

平成23年度耐震補強工事について

平

成21年度から各キャンパスで行われてきた耐震補強工事も、平成23年度が最終年度となります。今年度、耐震補強工事を行う各キャンパスの校舎等は、次のとおりです。

○大阪商業大学谷岡記念館、

5号館、6号館、学生会館

○大阪女子短期大学事務棟

○大阪商業大学高等学校本館

○大阪女子短期大学高等学校体育館

工事実施にあたっては、安全確保を最優先し、事故のないよう取り組みたいと思います。工期内は、「不便ご迷惑をおかけしますが、ご協力ください」というようによくお願いします。



谷岡記念館



学園設置3高校・幼稚園で携帯サイトを導入

園設置3高校及び幼稚園において保護者との緊密な連絡体制の確立及び緊急事案発生時の情報伝達のツールとして、一昨年11月にメール配信システムを導入いたしました。

このメール配信システムに続き、前述の各設置校HPで発信している各種情報を携帯電話でも閲覧できるよう携帯サイトの導入を行いました。

通常のHPでの情報発信とともに、携帯サイトによる情報発信も重要な広報ツールとなっています。今後は各設置校において従来のHPによる情

報発信とともに、携帯サイトによる情報発信が行われます。



大阪商業大学堺高等学校【スポーツ】

◎日本拳法部

- ◆第14回全国高等学校日本拳法選抜大会
男子団体競技 優勝
- 女子団体競技 優勝
- ◆第55回全国高等学校日本拳法選手権大会
男子団体競技 優勝

◎松岡里帆子(日本拳法部)3年

- ◆第14回全国高等学校日本拳法選抜大会
女子個人競技 優勝
- ◆第16回全日本拳法高校女子個人選手権大会優勝

神戸芸術工科大学【文化・芸術】

山下卓也

- デザイン学部プロダクトデザイン学科4年
◆クレイモルエキビション2010
学生デザインチャレンジ公募 入選

大阪女子短期大学【社会活動】

橋本佳奈、井上佳美、 後呂紗貴子、倉永聰美

- 生活科学科食物栄養専攻栄養士コース1年
◆野菜パリパリ朝食モリモリコンビニメニュー
選手権 優秀作品

大阪女子短期大学高等学校【スポーツ】

嶋田菜都美(バレーボール)3年

- ◆平成22年度第15回全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会
女子優秀選手

*学年は受賞時の学年

大阪商業大学【スポーツ】

◎下原玄大(ウェイトリフティング部)

- 総合経営学部公共経営学科3年
◆第56回全日本学生ウェイトリフティング個人選手権大会 69kg級 優勝

◎岡本哲弥(合気道部)

- 総合経営学部商学科2年
◆第41回全日本学生合気道競技大会
短刀乱取個人戦男子の部 優勝

神戸芸術工科大学【文化・芸術】

◎飛田有香

- 大学院芸術工学研究科総合デザイン専攻1年
◆“神戸洋菓子”デザインアワード2010
グランプリ(神戸市長賞) 受賞

◎川嶋崇史

- 大学院芸術工学研究科総合デザイン専攻2年
◆第4回エコプロダクツデザインコンペ
企業テーマ部門「大阪ガス株式会社」優秀賞 受賞
◆オーパスデザインアワード2010 入選

◎迫田恵美

- 大学院芸術工学研究科総合デザイン専攻1年
◆第42回毎日DAS学生デザイン賞
テキスタイル部門 部門賞 受賞

◎マークの生徒・団体は正賞 ◎マークの生徒・団体は奨励賞

平成23年度 谷岡奨学金受賞者決定

平

成23年3月25日(金)に谷岡奨学金贈呈式が執り行われました。
受賞者は次のとおり。

在、学園PR用交通広告として平成21年3月から近畿大阪難波駅構内に大型サインボードを掲出し、学園各設置校の認知度向上を図ることもに交通アクセスの利便性のアピールを行っています。この度、近鉄大阪難波駅に続いて大阪北の玄関口でもあるJR大阪駅に

平成23年2月16日(火)から大型サインボードを掲出しました。掲出場所はJR大阪駅でも乗降客の多い環状線の内回りホーム中央に面した壁面です。環状線を利用して大阪駅に行つた際には、乗ってきた電車を見送つていただき、「ご覧いただければ」と思っています。



JR大阪駅環状線ホームに大型サインボードを掲出しました

各設置校の主な予定

4/11(月)	いぶき祭(大商大)
4/23(土)	オープンキャンパス(芸工大)
5/8(日)	東大阪・ふれあい祭り(大商大参加)
5/14(土)	園庭開放(大商大附属幼稚園) 学園創立記念日(学至学館)
5/16(月)・23(月)	幼稚園見学会(至学館大附属幼稚園)
5/22(日)	海外大学院入学試験(芸工大)※北京会場
5/25(水)	子育てサロン(大商大附属幼稚園)
5/29(日)	オープンキャンパス(大阪女子短大)
6/4(土)	園庭開放(大商大附属幼稚園) オープンスクール(至学館高)
6/17(金)	ほたるのゆうべ(大阪女子短大) 弁論・コーラス大会(大阪女子短大高)
6/18(土)～19(日)	オープンキャンパス(芸工大)
6/19(日)	オープンキャンパス(大阪女子短大)
6/22(水)	絵本講演会(大商大附属幼稚園)
7/9(土)	編入学試験Ⅰ期(至学館大) 専攻科Ⅰ期入試(至学館大短大部)
7/16(土)	オープンキャンパス(至学館大/至学館大短大部)
7/17(日)	オープンキャンパス(大阪女子短大)
7/18(月)	KDU LIVE(芸工大)
7/20(水)	終業式(大商大塚高・大商大附属幼稚園) 終業式(至学館高) 終業式(至学館大附属幼稚園)
7/21(木)	終業式(大阪女子短大高)
7/23(土)	終業式(大商大高)
7/24(日)	オープンキャンパス(大阪商大)
7/28(木)～29(金)	AO(前期)入試(芸工大)
7/30(土)	オープンキャンパス(至学館大/至学館大短大部)
7/31(日)	オープンキャンパス(芸工大) オープンキャンパス(大阪女子短大) 夏期親子教室(芸工大)

各行事の詳細については各校のHPにてご確認ください

●各校入学式・入園式の日程

・大商大 4/2(土)	・大商大附属幼稚園 4/11(月)
・芸工大 4/3(日)	・至学館大/至学館大短大部 4/4(月)
・大阪女子短大 4/4(月)	・至学館高 4/6(水)
・大商大高 4/6(水)	・至学館大附属幼稚園 4/8(金)
・大商大塚高・大阪女子短大高 4/7(木)	

●大商大公開講座「地域社会と中小企業」

4/21・4/28・5/12・5/19・5/26・6/2・6/9・6/16・6/23・6/30・7/7・7/21
いずれも木曜日

●大商大商業史博物館シンポジウム

7/2(土)

●大商大比較地域研究所講演会

7/23(土)

本学園における個人情報の取扱いについて

学校法人谷岡学園(以下「本学園」という。)では、個人情報の重要性を認識し、これを保護するとともに、「個人情報の保護に関する法律」に沿って、適切に管理し、利用します。

また、本学園は、保有する個人情報に対して、必要かつ適切な安全管理措置を講じ、個人情報の漏洩、滅失、毀損等を防ぐよう努めます。

個人情報取扱業者の名称及び氏名:

学校法人谷岡学園 理事長 谷岡一郎

個人情報の取扱いについての問合せ窓口

学校法人谷岡学園 法人本部 総務課 個人情報取扱係

電話:06-6781-0384

学校法人 谷岡学園

TEL:06-6781-0385

大阪商業大学
神戸芸術工科大学
大阪女子短期大学
大阪商業大学高等学校
大阪商業大学塚高等学校
大阪女子短期大学高等学校
大阪商業大学附属幼稚園

<http://ouc.daishodai.ac.jp/>
<http://www.kobe-du.ac.jp/>
<http://www.owjc.jp/>
<http://www.daishodai-h.ed.jp/>
<http://www.shodaisakai.ac.jp/>
<http://www.osakajyosi-h.ed.jp/>
<http://www.shodai-kids.ed.jp/>

学校法人 至学館

TEL:0562-46-1291

至学館大学
至学館大学短期大学部
至学館高等学校
至学館大学附属幼稚園

<http://www.sgk.ac.jp/>
<http://www.sgk.ac.jp/>
<http://www.shigakukan-h.ed.jp/>
TEL:0562-46-1294

Quality of Life

クオリティ・オブ・ライフ

”心の受難時代“を乗り越えるために

大阪商業大学
心理高等学
員校
二谷
寿男

“心の受難時代”と言われる現在、子ども達にとっても現在の生活環境の中でストレスによる様々な障害が表れて来ています。鬱病、社会不安障害(適応障害、パニック障害等)、過敏性腸症候群などが子ども達に忍び寄り、最近では、小学生が鬱病になっている状態も見受けられます。

子どもにこれらの中が表れた場合、まず第一に考えられるのが、専門医を受診する事ですが、最近では、最低2~3週間の予約が必要で、時には3ヶ月、半年かかる場合もあります。しかし本人及び保護者の方は、受診する事を嫌がり、その結果不登校になって初めて、来校されカウンセリングを受けられるのが大半です。不登校になって2週間以内に何らかの対策を取れば立ち直りも早いと言われています。

高校では、新学期が始まり、5月の連休後か、2学期の初めに不登校になる生徒が多くいます。2,3日登校しないので、担任の先生が家庭へ電話連絡をされますが保護者の方は、「風邪を引いているとか腹痛で学校を休ませている。」との返答で、なかなか本人は登校しません。そのうち2週間ぐらい過ぎると、「実は生活状態が昼夜逆転になって学校へ行くことが出来ない状況になっています。」と担任の先生に正直に話をされます。担任の先生が早速保護者の方に連絡を取り、午前、午後、夜7時頃から保護者の方のご都合に合わせて来校を願い、ここからカウンセリングが始まります。

親子で来校される時もありますが、大半はお母さんのカウンセリングです。その第一声に「まさかうちの子が」と言われますが、不登校は、誰もがかかる一種の病気です。特に小学校、中学校で不登校を経験している生徒は、2学期以降にリバウンドする事が多くあります。いじめ等で中学校で不登校になり、心機一軒して高校に入學し、1学期にがんばり過ぎて、その疲れがまた表れるからです。他にも鬱病でがんばって登校している生徒、過敏性腸症候群で一駅毎にトイレに駆け込みながら登校している生徒、起立性調節障害で毎日遅刻しながら登校する生徒もあります。何らかの心的状況を抱えている生徒は、学校に行きたいと思っているのですが、登校出来ないです。だから呼び名も「登校拒否」から「不登校」へと変わったのです。登校出来る生徒のカウンセリングは、不登校のことよりも最初に生徒が現在興味を持っている事について聞きます。黙り込んでいた生徒も徐々に話をして、元気に長々と話をします。保護者の方には、不登校生徒の現状のお話をゆっくり聞いてから、子どもさんの長所を挙げて頂きます。誰にでも長所がありますが大半の保護者の方は直ぐに答えられません。なぜならば、学校に行かない子どもの現状しか見ていないために、その子どもの持っている長所が保護者の方には目に入らないのです。

最後に保護者の方に3つの「あ」についてお話をします。不登校の保護者の方には、「あわてず、あせらず、あきらめず」この3つの言葉が大切です。保護者の方があわててたり、あせっておられる時は不登校は直りません。ゆっくり休ませてあげて、学校の事には触れないで、いつも通りの家庭生活を送るようになれば、教室に入れなくても必ず登校します。または別室登校をさせて、徐々に登校に慣らしていく方法もあります。そして基本的生活習慣を養い、集団行動への適応力、協調性を身に付けていきます。

不登校以外にも現在社会の中で子ども達は、ストレスによる様々な症状に苦しんでいます。それ故に子ども達の症状を理解し、家庭で心を癒せる環境を作つてあげ、自ら動き出すのを待ち、根気強く子どもの成長を見守つて行くことが“心の受難時代”を乗り越える対策だと思います。

編集室コラム

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の報道に接するたびに、一言では言い表せられない様々な感情が交差します。その中でも感じることは「今を生きている」ことの大切さです。一日を振り返って、精一杯のことはやったと思える一日としていきたいと改めて思っています。

最近、職場でも家庭でも「えー、もうあれから一週間?」、「●●から●年たったの?」といったやりとりが始まります。光陰矢のごとしいますが、まさにそれです。思い返してみると、追い立てられるものもなかった学生時代にはそのようなことは感じたことがなく、就職して以後、仕事に追いかけるようになってから感じ出したような気がします。更に自転車操業の毎日となってからはそれに輪をかけるように一日一日が早くなっています。林屋ペーさんがいる有名人の誕生日を覚えているようにいかないと思いますが、これからの一一日がどんな一日だったか、思い出せるような毎日を過ごしていけばと思っています。(お)

Gaku jin